

教科	社会（歴史）	学年	第2学年
----	--------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中世の日本 （諸産業の発達、民衆の成長 室町文化）	4	○ 農業など諸産業の発達，都市や農村における自治的な仕組みの成立，応仁の乱後の社会的な変動などを基に，民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。	○ 農業など諸産業の発達，都市や農村における自治的な仕組みの成立，応仁の乱後の社会的な変動などを基に，民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	○ 中世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。	中世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
近世の日本	18	○ ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業，桃山文化の展開などを基に，近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。 ○江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ○ 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを基に，安定した社会の基礎が形成されたことを理解させる。 ○社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを基に，幕府政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。	○ ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業，桃山文化の展開などを基に，近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ○ 江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○ 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを基に，安定した社会の基礎が形成されてことを理解している ○社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを基に，幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	○事象を相互に関連付けるなどして，世界の動きと統一事業，江戸幕府の成立と対外関係，産業の発達と文化活動の広がり，幕府政治の展開について，多面的・多角的に考察し，表現している。	○近世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

近代の日本	31	○欧米諸国における産業革命や市民革命，アジア諸国の動きなどを基に，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ○ 開国とその影響，明治維新の諸改革によって近代国家の基礎が整えられ，人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ○ 民権運動から帝国憲法の制定，日清・日露戦争などを基に，立憲国家の成立とともに，我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。 ○ 我が国の産業革命，国民生活の変化，学問・教育・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる。	○ 欧米諸国における産業革命や市民革命，アジア諸国の動きなどを基に，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ○ 開国とその影響，明治維新の諸改革によって近代国家の基礎が整えられ人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○ 民権運動から帝国憲法の制定，日清・日露戦争などを基に，立憲国家の成立とともに，我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ○ 我が国の産業革命，国民生活の変化，学問・教育・芸術の発展などを基に，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる	○ 工業化の進展と政治や社会の変化，明治政府の諸改革の目的，議会政治や外交の展開，近代化がもたらした文化への影響などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き，明治維新と近代国家の形成，議会政治の始まりと国際社会との関わり，近代産業の発展と近代文化の形成について，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ○ 近代(前半)の日本と世界を大観して，時代の特徴を多面的・多角的に考察し，表現している。 主	近代(前半)の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
-------	----	--	--	--	---